

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】令和7年6月13日(2025.6.13)

【公開番号】特開2023-178167(P2023-178167A)
 【公開日】令和5年12月14日(2023.12.14)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-235
 【出願番号】特願2022-157589(P2022-157589)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 19/28(2006.01)
 C 0 9 D 5/02(2006.01)
 C 0 9 D 167/00(2006.01)
 C 0 9 D 167/02(2006.01)

10

【F I】

D 2 1 H 19/28
 C 0 9 D 5/02
 C 0 9 D 167/00
 C 0 9 D 167/02

【手続補正書】

20

【提出日】令和7年6月5日(2025.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリエステル系樹脂Xを含有する樹脂粒子分散液であって、
 該ポリエステル系樹脂Xが非晶性ポリエステル系樹脂Aと結晶性ポリエステル系樹脂C
 とを含み、

ポリエステル系樹脂X中の、結晶性ポリエステル系樹脂Cに対する非晶性ポリエステル
 系樹脂Aの質量比(非晶性ポリエステル系樹脂A/結晶性ポリエステル系樹脂C)が5/
 95以上94/6以下である、

紙塗工用樹脂粒子分散液。

【請求項2】

非晶性ポリエステル系樹脂Aのガラス転移温度が35以上85以下である、請求項
 1に記載の紙塗工用樹脂粒子分散液。

【請求項3】

実質的に界面活性剤を含有しない、請求項1に記載の紙塗工用樹脂粒子分散液。

40

【請求項4】

非晶性ポリエステル系樹脂A及び結晶性ポリエステル系樹脂Cが実質的に非水溶性であ
 る、請求項1に記載の紙塗工用樹脂粒子分散液。

【請求項5】

非晶性ポリエステル系樹脂Aが、ジオールを含有するアルコール成分(A-a1)と2
 価以上のカルボン酸成分(A-ac)との重縮合物を含み、前記ジオールが炭素数2以上
 10以下の脂肪族ジオールであり、

結晶性ポリエステル系樹脂Cが、脂肪族ジオールを含有するアルコール成分(C-a1)
)と2価以上のカルボン酸成分(C-ac)との重縮合物を含む、請求項1に記載の紙塗
 工用樹脂粒子分散液。

50

【請求項 6】

非晶性ポリエステル系樹脂 A を構成する前記脂肪族ジオールの炭素数と、結晶性ポリエステル系樹脂 C を構成する前記脂肪族ジオールの炭素数との差が 0 以上 2 以下である、請求項 5 に記載の紙塗工用樹脂粒子分散液。

【請求項 7】

非晶性ポリエステル系樹脂 A が、ジオールを含有するアルコール成分 (A - a 1) と 2 価以上のカルボン酸成分 (A - a c) との重縮合物を含み、前記ジオールがビスフェノール A のアルキレンオキシド付加物であり、

結晶性ポリエステル系樹脂 C が、脂肪族ジオールを含有するアルコール成分 (C - a 1) と 2 価以上のカルボン酸成分 (C - a c) との重縮合物を含み、

結晶性ポリエステル系樹脂 C に対する非晶性ポリエステル系樹脂 A の質量比 (非晶性ポリエステル系樹脂 A / 結晶性ポリエステル系樹脂 C) が 5 / 9 5 以上 6 5 / 3 5 以下である、請求項 1 に記載の紙塗工用樹脂粒子分散液。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の樹脂粒子分散液を含有する、紙用塗工液。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の紙用塗工液を紙基材の少なくとも片面に塗工してなる塗工層を有する、塗工紙。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の紙用塗工液を紙基材の少なくとも片面に塗工する工程 1 と、該工程 1 で塗工された紙基材上の紙用塗工液を乾燥させる工程 2 とを含む、塗工紙の製造方法。

10

20

30

40

50